特異的エクソソーム内包マイクロRNAを用いた悪性胸膜中皮腫の診断方法

呼吸病態学　和泉弘人

利用分野

アスベストの曝露によって胸膜の中皮細胞から発生する悪性の腫瘍（悪性胸膜中皮腫）を早期に簡便にマイクロRNAを用いて診断する。マイクロRNAは、胸水や血液中に存在するエクソソームから抽出される。

シーズ

悪性胸膜中皮腫細胞が分泌する６種類のエクソソーム内包マイクロRNAは、正常細胞では確認されず、特異的なマイクロRNAであり、これを調べることで、簡便に検査が可能である。

ニーズ

悪性胸膜中皮腫の診断には、胸水や胸水のヒアルロン酸を用いた検査が行われている。肺野に病変を認めても診断が難しく臨床的に大きな課題となっている。

連携分野

エクソソーム内包マイクロRNAの抽出技術を有する研究機関や企業とのコラボ

知財保護

特願2019-202767

エクソソームと呼ばれる細胞外小胞が注目されている

産業医科大学

産業医科大学　産学連携・知的財産本部
〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘１番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL：093（280）0532
FAX:　093（691）7518
E-mail：chizai@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp